

愛知県陶磁美術館収蔵品 3D モデル及び SNS 広報用動画制作業務 仕様書

1 目的

本県では、2022 年度から、県が提示した行政課題について民間企業等から提案を募集し、実証実験を通じて解決を図る事業「AICHI X TECH (アイチ クロス テック)」を実施している。

愛知県陶磁美術館では、休館中にも、既存ファンを楽しませたり新規ファンを獲得したりするための施策として、展示を行っていない休館中にしか作成できない収蔵品の 3D モデルを制作し、さらにその 3D モデルを活用した SNS 広報用動画（以下、単に「動画」という。）によって SNS による広報をする実証実験を 2023 年度に行った。

本委託業務では、実証実験の結果を踏まえ、さらに効果的な事業を行う。

2 業務内容

昨年度の実証実験で得られた結果をもとに、さらに 3D モデルや動画を作成し、SNS による効果的な広報を行う。

(1) 3D モデル及び動画制作

制作する内容は以下のとおり。

① 3D モデル

愛知県陶磁美術館所蔵品の高精細な 3D モデル。所蔵品 10 点分程度を想定しているが、内容によってはこだわらない。Sketchfab 上に当館のアカウントで公開する。(参考 URL : <https://sketchfab.com/aitou>)

制作に係る撮影の期間は 2 日程度とし、作品の取り扱いは全て当館学芸員が行う。

プロポーザルのための所蔵品の選定については、別紙所蔵作品一覧のうち、難易度の低・中・高からそれぞれ 1 点（計 3 点）を選ぶ。

契約後の所蔵品の選定については担当学芸員と協議の上決定する。

② 動画

上記の 3D モデルをもとにした動画。当館の SNS に投稿し、効果的な広報を行うことを目的とする。SNS への投稿は当館で行う。

(2) 昨年度の実証実験を踏まえた仕様検討

3D モデル及び動画制作にあたり、昨年度の実証実験の結果を踏まえた検討を行い、適宜、仕様に反映する。課題、改善の方向性は以下のとおり。

- ・30 秒の動画を SNS に投稿しても、平均再生時間が 5 秒程度であることが多く、なかなか見てもらえない。
- ・やきものファンだけでなく、それ以外の層にも SNS 投稿を届けたい。

3 打ち合わせ（定期ミーティング）

受託者は、業務の遂行のため、原則として県と月1回以上の定期的な打合せを行うものとする。打合せの場所は、原則愛知県内とし、オンラインによることも可とする。

4 成果物

成果物は以下のとおりとする。

- ① 制作物（3Dモデル及び動画）
- ② 業務完了報告書

成果物は、電子データにより本業務終了後速やかに提出すること。

5 履行期間

契約締結の日から2024年11月29日（金）まで

6 完了報告及び支払

受託者は、本業務が完了した時、業務完了報告書をもって作業の完了を届け出ること。

県は、業務完了報告書を審査完了した後、請求書を収受して、代価を一括で支払うものとする。

7 留意事項

- (1) 本業務の実施にあたっては、事前に県と十分に協議を行うこと。また、契約期間中は、業務内容全般を常に把握している専任の担当者を置くこと。
- (2) 業務全般において、使用する図表やデータ、画像等の著作権・使用権等の権利については、受託者において使用許可等を得ること。なお、これを怠ったことにより、著作権等の権利を侵害したときは、受託者は、その一切の責任を負うこと。
- (3) 受託者は、業務上知り得た秘密を漏らしてはならない。委託期間終了後も同様とする。
- (4) 業務を遂行する上で必要となる一切の経費は、受託者が負担すること。
- (5) この仕様書に定めのない事項については、必要に応じて県と受託者とが協議して決定するものとする。
- (6) 本仕様書はプロポーザル用であり、契約先候補者とは、内容を協議の上、契約を締結するものとし、契約内容等については、協議の中で、企画提案書等の内容から変更・修正する場合がある。